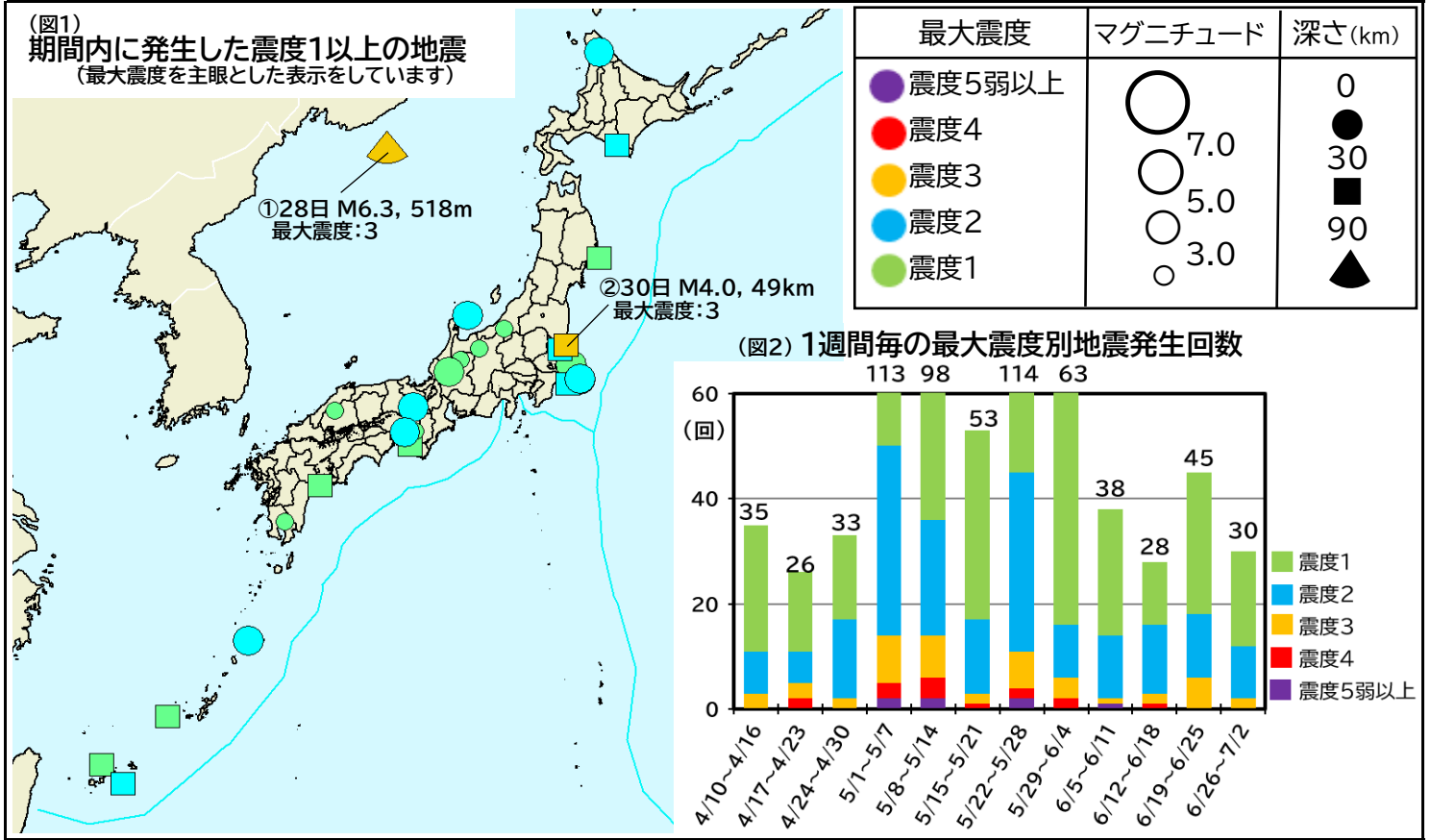


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が30回発生。最大震度は3。 ■
- ①6月28日08時38分に日本海北部で発生した地震(M6.3、深さ518km)により、北海道浦幌町で震度3を観測したほか、北海道から福島県にかけての広い範囲で震度2~1を観測。このような震度が偏って分布する現象は、異常震域とよばれている(トピックス参照)。
- ②6月30日14時23分に茨城県沖で発生した地震(M4.0、深さ49km)により、茨城県日立市と高萩市で震度3を観測したほか、福島県、茨城県、栃木県で震度2~1を観測。

トピックス

■ 異常震域 ■

- ・28日に日本海北部(ロシア沿海州付近)で発生したM6.3の地震により、約800km離れた北海道で震度3を観測しましたが、震央に近い日本海側で震度1以上を観測した所はありませんでした。
- ・このように震央に近い所より、遠く離れた所で大きな震度が観測される現象は「異常震域」と呼ばれています。
- ・図3のように、日本の近くでは陸のプレートの下に、太平洋プレートが沈み込んでいますが、今回の地震のように沈み込んだ太平洋プレートの深い場所で地震が発生すると、やわらかい岩盤を通して来る震源の真上には地震波があまり伝わらず、プレートの中を伝わって、むしろ震源から遠く離れた地域で大きな揺れを観測することがあります。これが「異常震域」です。「異常」という文字が付いていますが、よく見られる現象ですので、異常なことが発生している訳ではありません。
- ・図4に、現在の震度観測網とほぼ同じとなった1997年以降で、震源が300kmより深い地震で震度1以上を観測した地震(異常震域となった)の震央分布図を示しました。今回のロシア沿海州付近のほかオホーツク海側や小笠原西方沖などで発生しています。
- ・これまでの最大の地震は、2015年5月に小笠原諸島西方沖の深さ682km、M8.1の地震で、最大震度は小笠原諸島で観測された震度5強です。

